

国営かんがい排水事業
みのうさんろく
耳納山麓地区

【 受益者のみなさまへ 】



■ 事業のあゆみ

調査着手から計画確定まで

- 昭和42年度 農林省直轄調査着手
- 昭和47年度 耳納山麓農業水利事業所開設
(S57 筑後川中流域農業水利事務所に改組)
- 昭和48年度 事業計画確定

主要工事等の経過

- 昭和48年度 開墾工事着手 (～S62年度)
〔S48.12.1 耳納山麓土地改良区設立〕
- 昭和54年度 幹線水路工事着手 (～H3年度)
- 昭和55年度 合所ダム本体工事着手 (～S62年度)
- 平成02年度 夜明取水工着手 (～H3年度)
隈上川頭首工着手 (～H4年度)
- 平成03年度 中央管理事務所建築
- 平成04年度 水管理施設工事 (～H5年度)
畑かん施設工事着手 (～H5年度)
- 平成05年度 事業完了

■ 事業のあらまし

前歴事業では水田の用水不足の解消と造成した樹園地に対する新規用水の確保、隈上川沿いの地域の配水の合理化、さらに、上水道用水の供給を目的として、関係水道企業団との共同事業により合所ダムを築造し、その下流に隈上川頭首工を新設した。

また、水田部における取水の安定化とともに、維持管理費の節減を図るため、既設の夜明ダム左岸に夜明取水工を建設し、隈上川頭首工及び夜明取水工で取水された農業用水は導水路を経て、延長約27kmにおよぶ幹線用水路に導かれ受益地に送水される。幹線用水路より高位部にある既成園および新規造成地に対してはポンプ場から揚水される。

これらの水利施設の建設とあわせて、経営規模拡大のため400haの農地造成をおこなった。

前歴事業の施設紹介

合所ダム

かんがいを主目的として、上水道供給を目的に加え、多目的ダムとして建設。



隈上川頭首工

既設の堰を統廃合して新設し、取水口から河川水を取水。



夜明取水工

揚水機場を統廃合して夜明取水口から河川水を取水。



農地造成

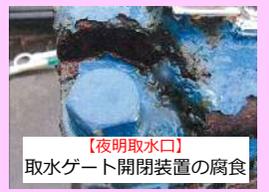
経営規模を拡大するための農地造成。

畑地かんがい施設

農作物の収量アップと品質向上等を図るためのスプリンクラー等の整備。



概要図及び老朽化状況



凡例	
国営	■
県営	■
水田	■
既成園	■
造成地	■



■ 次期事業の必要性

現状の課題

- 前歴事業完了後約30年経過している施設の老朽化対策
- 営農の現状と地域農業の将来像を踏まえた施設の再整備

国営事業及び関連事業の実施

次世代へ受け継がれていく施設に!!

産地収益力の強化

- 水田の汎用化による高収益作物の導入・拡大
- 畑地かんがいの安定した用水供給による収量増と品質向上

農業競争力の強化

- 水田の大区画化、畑地・樹園地の整備により、作業効率が改善し、経営規模の拡大
- 基盤整備を契機としたICT水管理やスマート農業の推進

安定した農業用水を活かした営農の継続と発展!!



【事業構想】（現時点で想定される概略構想案）

- 1 事業名 : 国営かんがい排水事業「耳納山麓地区」
- 2 関係市 : 福岡県久留米市、うきは市
- 3 工期 : 未定
- 4 受益面積 : ※ 3,572ha（田2,082ha、畑1,490ha）
- 5 受益者 : ※ 5,743人
- 6 総事業費 : 未定
- 7 主要工事 : (1) 合所ダム放流設備等(改修)
(2) 隈上川頭首工取水施設等(改修)
(3) 夜明取水工ゲート(改修)
(4) 幹線水路(改修)
(5) 農業用水路の水管理施設(新規・更新)

※ 耳納山麓土地改良区維持管理計画書（H29）より

耳納山麓地区が供給する合所ダム及び筑後川本川からの安定的な農業用水は、地域の農業の維持発展に不可欠なもので、良好な形で次世代に引き継いでいく必要があります。

次期国営事業の実施に当たっては、国（九州農政局）が主体となって耳納山麓地域活性化協議会と連携して、**地域の皆様方との話し合いを通じて、受益エリアの設定や事業構想の策定を進めてまいります。**

■ 耳納山麓地域の特色

本地域は果樹が盛んであり、果物狩りができる農園が多々あり「フルーツ王国」と呼ばれています。



農業算出額（推計）データ

果樹が占める割合53.9% = 果樹38.7億円 / 全体71.8億円

【出典：農林水産省調べ（令和2年度うきは市）】

耳納連山の麓、豊かな自然の中を5.7kmにわたって続く「みち」。

「苞」はワラに包まれたみやげものという意味があり、源氏物語の中にも「山苞にもたせ給へり紅葉」という句があります。山苞の道とは、山に包まれた道、そしておみやげの多い道という意味で名付けられています。



【出典：久留米市ほとめきの街観光サイトHP】

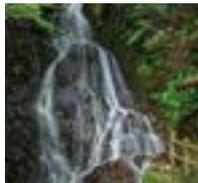
耳納山麓地域は日本の農業を支えている代表的な用水として選定される「日本の百選」に多数選ばれています。

名水百選
「清水湧水」

水源の森百選
「調音の滝公園一帯」

棚田百選
「つづら棚田」

疎水百選
「大石用水」



【出典：うきは市観光ポータルサイトHP】

■ お問合せ先

■ 九州農政局農村振興部事業計画課

☎ 096-211-9111（代表）

■ 九州農政局北部九州土地改良調査管理事務所

☎ 0942-27-2160